

琳派展XII

鈴木其一 —江戸琳派の風雲児—

2009年9月19日(土)～12月13日(日)



【開催概要】

細見美術館

<http://www.emuseum.or.jp>

- 展覧会名 琳派展XII「鈴木其一 —江戸琳派の風雲児—」
- 主催 細見美術館 京都新聞社(予定)
- 後援 京都府教育委員会・京都市教育委員会(申請中)
- 会期 2009年9月19日(土)～12月13日(日)※会期中、展示替があります。
- 開館時間 午前10時～午後6時(入館は、5時30分迄)
- 休館日 月曜日(祝日の場合、翌火曜日。但し、9月22日は開館)
- 入館料 一般1000円(800円) 学生800円(600円)
※()内は20名以上の団体料金
- 会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

開催趣旨

鈴木其一(1796～1858)は、江戸琳派を興した酒井抱一の高弟。はじめ抱一の叙情的な作風を慕ったが、次第により明快で鮮やかな独自の画風を確立した。モチーフの形や色にこだわる造形意識は、抱一よりむしろ光琳を髣髴とさせるものがあり、かつ近代絵画に先行する洗練された感覚も見出される。江戸琳派が得意とした花鳥図のみならず、美人画や歴史画など、其一の画域の広さも興味深い。

本展は其一画のさまざまな画題、画風を、初期作から晩年作までの諸作品に探る。

また其一は多くの弟子を育て、抱一の実質的な後継者であった。其一を取り巻く他の江戸琳派画家の作品もともに陳列することにより、其一画の特色と広がりが見らるであろう。



琳派展XII

鈴木其一 —江戸琳派の風雲児—

主な出品作品



水辺家鴨図屏風



藤花図



朴に尾長鳥図



弓張月図



春



秋

四季歌意図巻

細見美術館

琳派展XII

鈴木其一 —江戸琳派の風雲児—

主な出品作品



柿に三日月図
個人蔵



月に秋草図
個人蔵



雪中檜図
個人蔵



牧童図
個人蔵

細見美術館